

防府市人口ビジョン（中間案）

平成27年7月

目次

I 人口の現状と将来分析

1 人口の動向分析

(1) 総人口の推移	1
(2) 年齢3区分別人口の推移	1
(3) 地区別人口の推移	2
(4) 出生数・死亡数の推移	3
(5) 合計特殊出生率の推移	4
(6) 男女別20～49歳の未婚率の推移	5
(7) 転入数・転出数の推移	6
(8) 男女別年齢階級別人口移動の状況	7
(9) 県内市町間の人口移動の状況	8
(10) 県外の人口移動の状況	9
(11) 人口動態の推移	10
(12) 産業別の就労状況	11
(13) 産業別労働人口構成	12
(14) 雇用力と稼ぐ力	13
(15) 男女別産業人口と特化係数	14
(16) 製造品出荷額等・従業者数の推移	15
(17) 観光客数の推移	15
(18) 通勤・通学の状況	16

2 将来人口の推計

(1) これまでの趨勢で推移する場合の人口の将来推計	17
(2) 男女別年齢階級別人口構成の将来予測	18
(3) 人口の変化が地域の将来に与える影響の考察	19

II 人口の将来展望等

1 将来展望に必要な調査・分析

2 目指すべき将来の方向

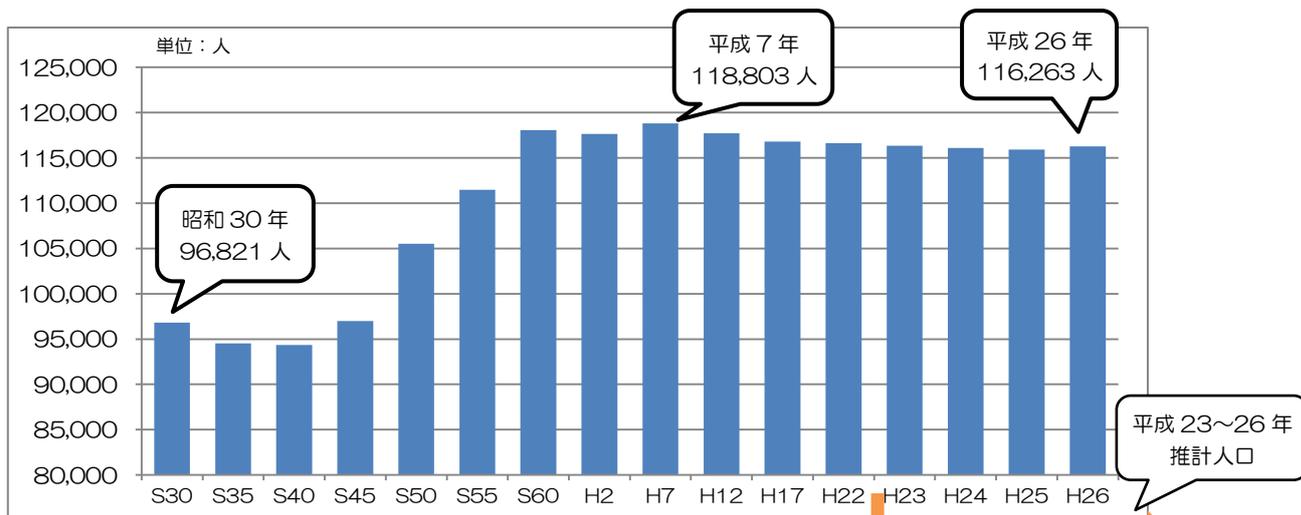
3 人口の将来展望

I 人口の現状と将来分析

1 人口の動向分析

(1) 総人口の推移

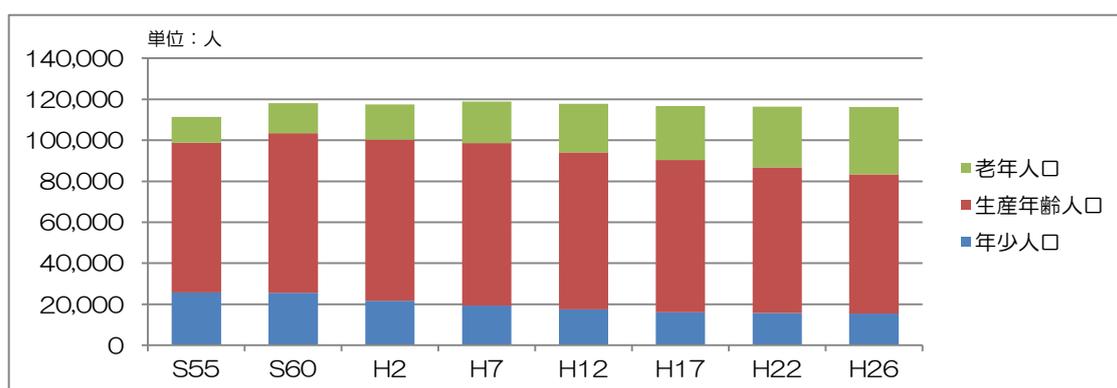
本市の総人口は、現在の市域となった昭和30年は96,821人であり、昭和40年までは減少傾向にあったものの、その後人口増に転じ、平成7年の国勢調査では、118,803人となりました。以降、人口は減少傾向にありますが、ほぼ横ばいで推移しており、平成26年には116,263人となっています。



出典) 国勢調査、市町年齢別推計人口(山口県)

(2) 年齢3区分別人口の推移

昭和55年と平成26年の年齢3区分別人口を比較すると、年少人口は約4割減少し15,470人となっています。一方、老年人口は約2.5倍の32,860人となっています。このことから、総人口はほぼ横ばいで推移していますが、少子高齢化が進展していることがわかります。



	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H26	S55→H26
年少人口	25,673	25,519	21,714	19,408	17,545	16,144	15,771	15,470	60.3%
生産年齢人口	73,106	77,874	78,607	79,178	76,568	74,202	71,042	67,932	92.9%
老年人口	12,657	14,671	17,149	20,217	23,610	26,387	29,506	32,860	259.6%
総人口	111,468	118,067	117,634	118,803	117,724	116,818	116,611	116,263	104.3%

※総人口には年齢不詳人口を含む

出典) 国勢調査、市町年齢別推計人口(山口県)

(3) 地区別人口の推移

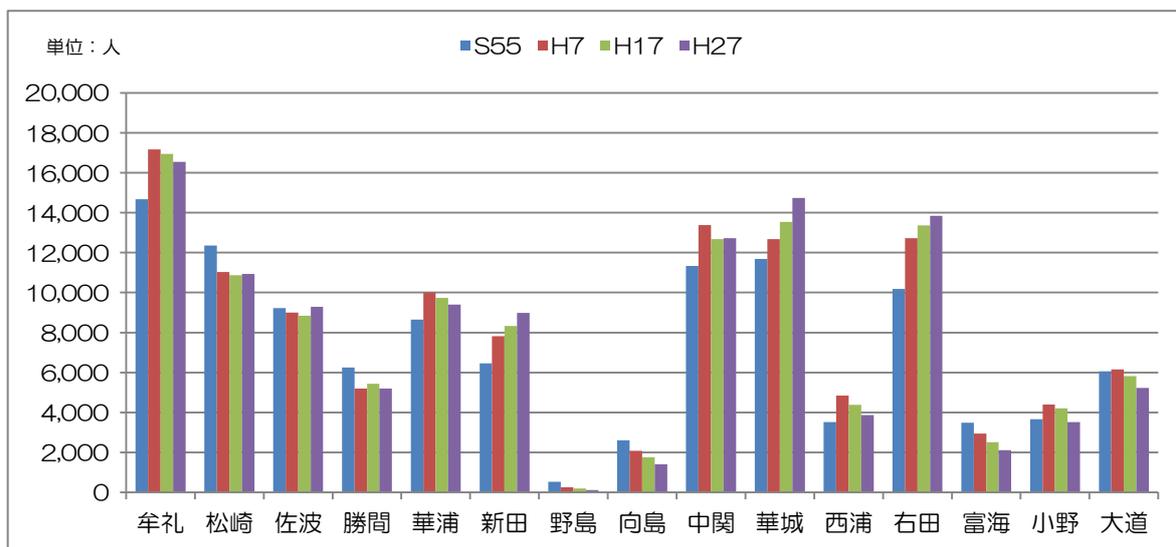
昭和55年から平成27年の地区別人口の推移をみると、新田・右田・華城の3地区は、昭和55年以降、人口の増加傾向が続いている地区となっています。また、野島・向島・富海地区の3地区は、昭和55年以降、人口は減り続けています。

【地区別人口の推移 (S55~H27)】

地区	単位：人								それぞれS55、H7、H17を100とした時の変化率		
	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	S55→H27	H7→H27	H17→H27
牟礼	14,675	16,016	16,784	17,160	17,027	16,948	16,531	16,542	113%	96%	98%
松崎	12,350	11,732	11,348	11,026	10,812	10,863	10,993	10,927	88%	99%	101%
佐波	9,216	9,139	8,890	9,000	8,924	8,840	8,984	9,295	101%	103%	105%
勝間	6,251	6,143	5,528	5,188	5,333	5,438	5,162	5,200	83%	100%	96%
華浦	8,649	8,914	8,406	10,004	9,886	9,729	9,468	9,397	109%	94%	97%
新田	6,455	7,344	7,685	7,821	8,180	8,332	8,669	8,985	139%	115%	108%
野島	534	384	329	258	233	187	143	109	20%	42%	58%
向島	2,612	2,379	2,210	2,083	1,929	1,752	1,607	1,412	54%	68%	81%
中関	11,325	13,115	13,069	13,379	12,833	12,675	12,486	12,726	112%	95%	100%
華城	11,691	13,314	13,573	12,673	13,215	13,546	14,238	14,739	126%	116%	109%
西浦	3,525	4,527	4,577	4,837	4,335	4,388	4,344	3,873	110%	80%	88%
右田	10,188	10,525	12,000	12,727	13,233	13,370	13,594	13,842	136%	109%	104%
富海	3,482	3,402	3,157	2,950	2,715	2,513	2,308	2,110	61%	72%	84%
小野	3,658	4,140	4,305	4,396	4,403	4,208	3,838	3,517	96%	80%	84%
大道	6,056	6,499	6,345	6,158	6,023	5,824	5,463	5,234	86%	85%	90%
計	110,667	117,573	118,206	119,660	119,081	118,613	117,828	117,908	107%	99%	99%

出典) 住民基本台帳 (各年4月1日時点人口)

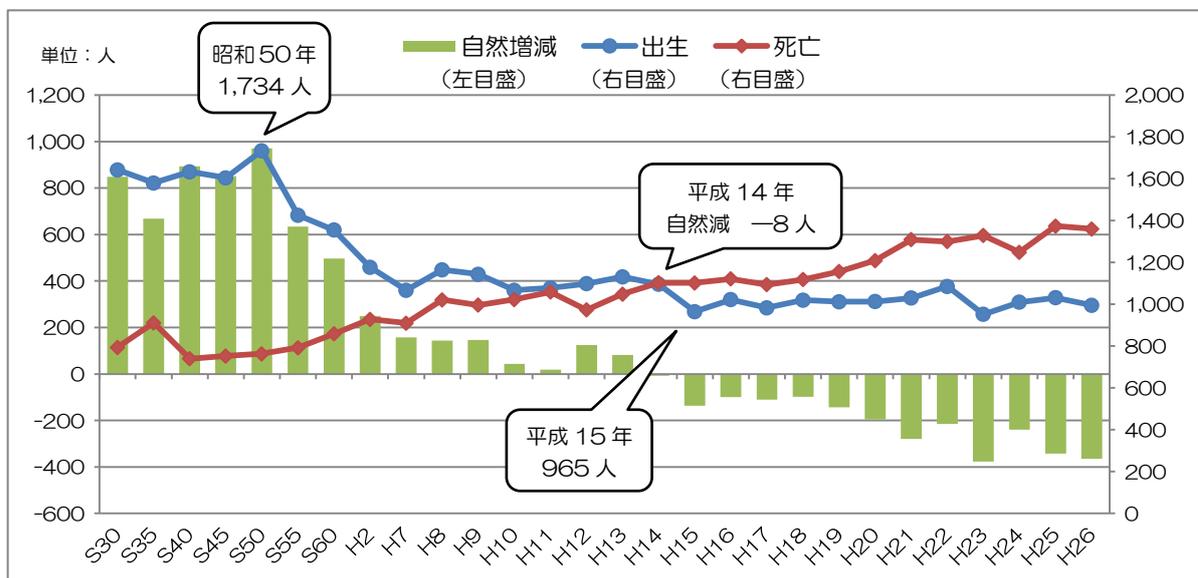
【地区別人口の推移 (S55/H7/H17/H27)】



出典) 住民基本台帳 (各年4月1日時点人口)

(4) 出生数・死亡数の推移

出生数については、昭和50年の1,734人をピークに年々減少し、平成15年に1,000人を割り込んだ後、横ばいで推移しています。一方、死亡数は高齢化の進行とともに年々上昇を続けています。また、平成14年以降は死亡数が出生数を上回り、自然減で推移しています。



	S30	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H8	H9	H10	H11	H12
出生数	1,642	1,580	1,633	1,604	1,734	1,426	1,355	1,177	1,067	1,165	1,143	1,067	1,078	1,098
死亡数	794	911	740	753	763	792	859	928	910	1,021	996	1,023	1,059	973
自然増減	848	669	893	851	971	634	496	249	157	144	147	44	19	125

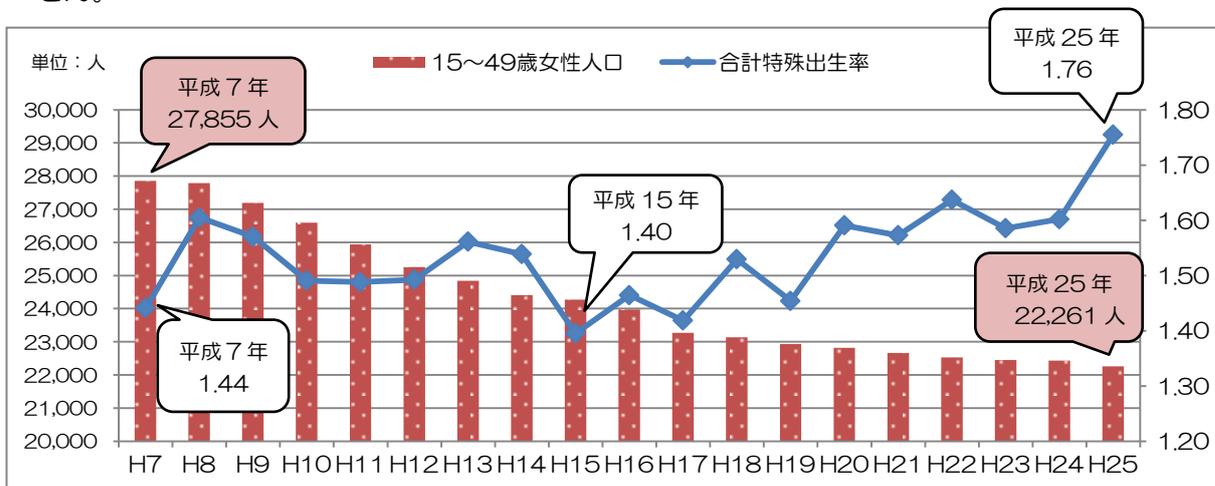
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
出生数	1,131	1,095	965	1,022	983	1,020	1,012	1,013	1,030	1,085	952	1,010	1,031	995
死亡数	1,049	1,103	1,102	1,121	1,094	1,118	1,156	1,209	1,309	1,300	1,329	1,249	1,374	1,360
自然増減	82	-8	-137	-99	-111	-98	-144	-196	-279	-215	-377	-239	-343	-365

出典) 昭和30年～平成2年：住民基本台帳、平成7年以降：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（総務省）

※出典元である「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」は、平成24年までは年度（4/1～3/31）の数値であるが、調査期間が変更されたため、平成25年以降は年（1/1～12/31）における数値が用いられている（以降も同じ）。

(5) 合計特殊出生率の推移

1人の女性が一生の間に生む子どもの数に相当する「合計特殊出生率」は、平成15年には1.40でしたが、それ以降上昇傾向にあり、平成25年には1.76となっています。ただし、15～49歳女性人口は減少していることから、出生数の増加には繋がっていません。



	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
合計特殊出生率	1.44	1.60	1.57	1.49	1.49	1.49	1.56	1.54	1.40
15～49歳女性人口	27,855	27,790	27,191	26,594	25,945	25,261	24,839	24,406	24,270

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
合計特殊出生率	1.42	1.53	1.45	1.59	1.57	1.64	1.59	1.60	1.76
15～49歳女性人口	23,276	23,136	22,932	22,814	22,660	22,526	22,455	22,430	22,261

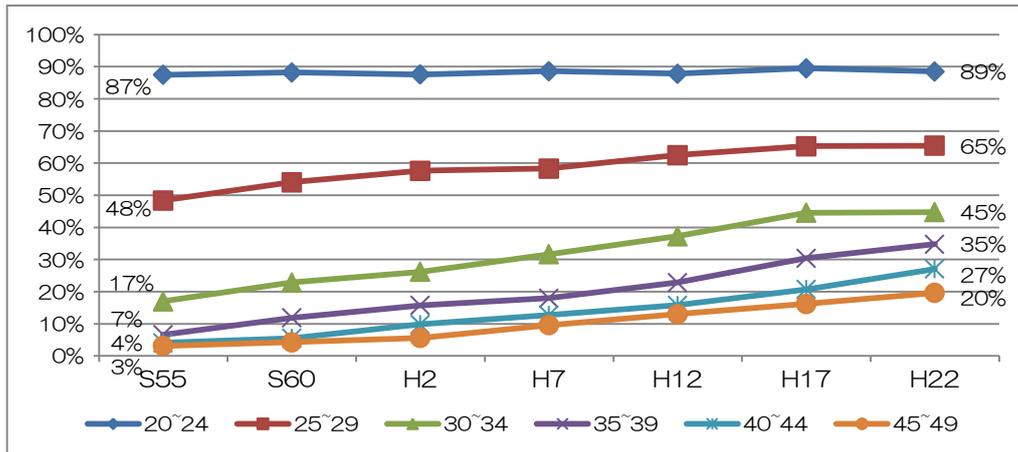
出典) 保健統計年報(山口県)、市町年齢別推計人口(山口県)より算出

(6) 男女別 20～49 歳の未婚率の推移

昭和 55 年から平成 22 年の年齢別未婚率の推移をみると、男性・女性ともに、未婚率は全ての年齢階級で上昇しています。

また、昭和 55 年には、25～29 歳で女性の約 8 割が既婚者となっていますが、平成 22 年では、既婚者の割合が同様の約 8 割になる年齢は 35～39 歳となっており、晩婚化の傾向がうかがえます。男性も同様の傾向にあります。

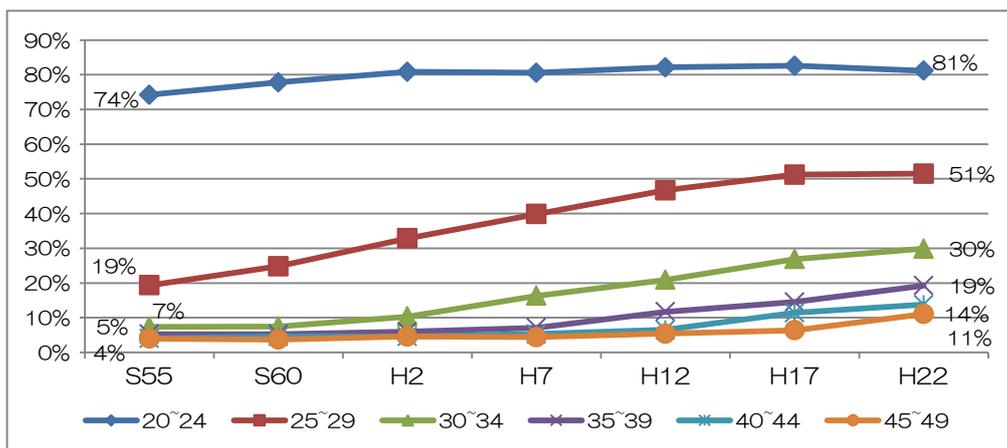
【男性の未婚率の推移】



	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
20～24	87%	88%	88%	89%	88%	90%	89%
25～29	48%	54%	58%	58%	63%	65%	65%
30～34	17%	23%	26%	32%	37%	45%	45%
35～39	7%	12%	16%	18%	23%	30%	35%
40～44	4%	6%	10%	13%	16%	21%	27%
45～49	3%	4%	6%	10%	13%	16%	20%

出典) 国勢調査

【女性の未婚率の推移】



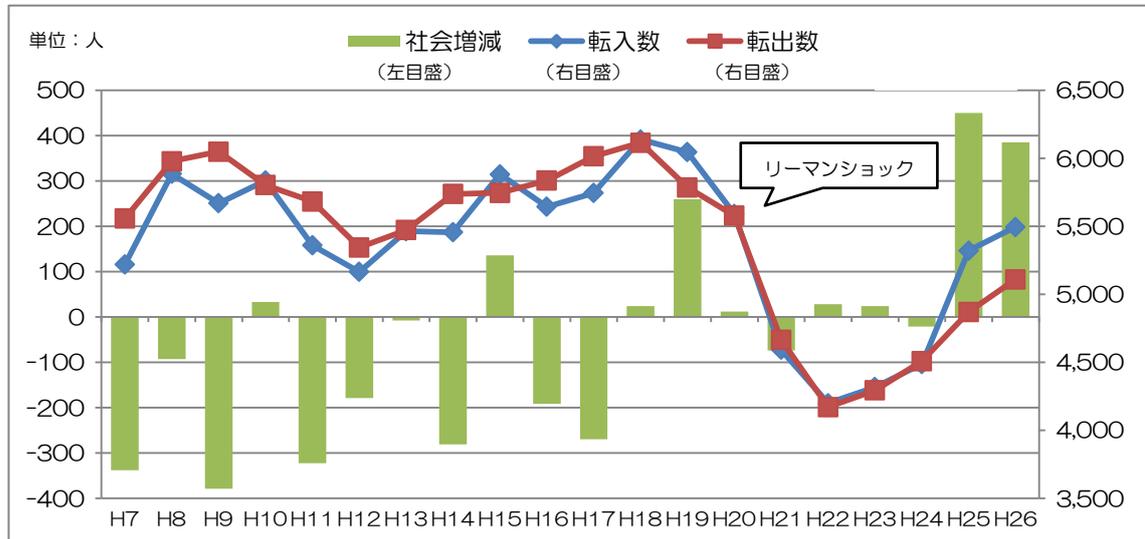
	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
20～24	74%	78%	81%	81%	82%	83%	81%
25～29	19%	25%	33%	40%	47%	51%	51%
30～34	7%	7%	10%	16%	21%	27%	30%
35～39	5%	5%	6%	7%	12%	15%	19%
40～44	4%	5%	5%	5%	7%	11%	14%
45～49	4%	4%	5%	4%	5%	6%	11%

出典) 国勢調査

(7) 転入数・転出数の推移

平成7年から平成26年までの20年間の推移をみると、直近の平成25年・26年は社会増となっているものの、それ以前の社会増減は波があることがわかります。

転入数・転出数については、リーマンショックのあった平成20年以降大きく落ち込み、景気回復の見られる平成25年頃から上昇に転じていることなどから、景気動向に左右されていると考えられます。



年度	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
転入数	5,218	5,885	5,669	5,836	5,359	5,165	5,464	5,456	5,882	5,644
転出数	5,556	5,978	6,048	5,803	5,682	5,344	5,472	5,737	5,746	5,836
社会増減	-338	-93	-379	33	-323	-179	-8	-281	136	-192

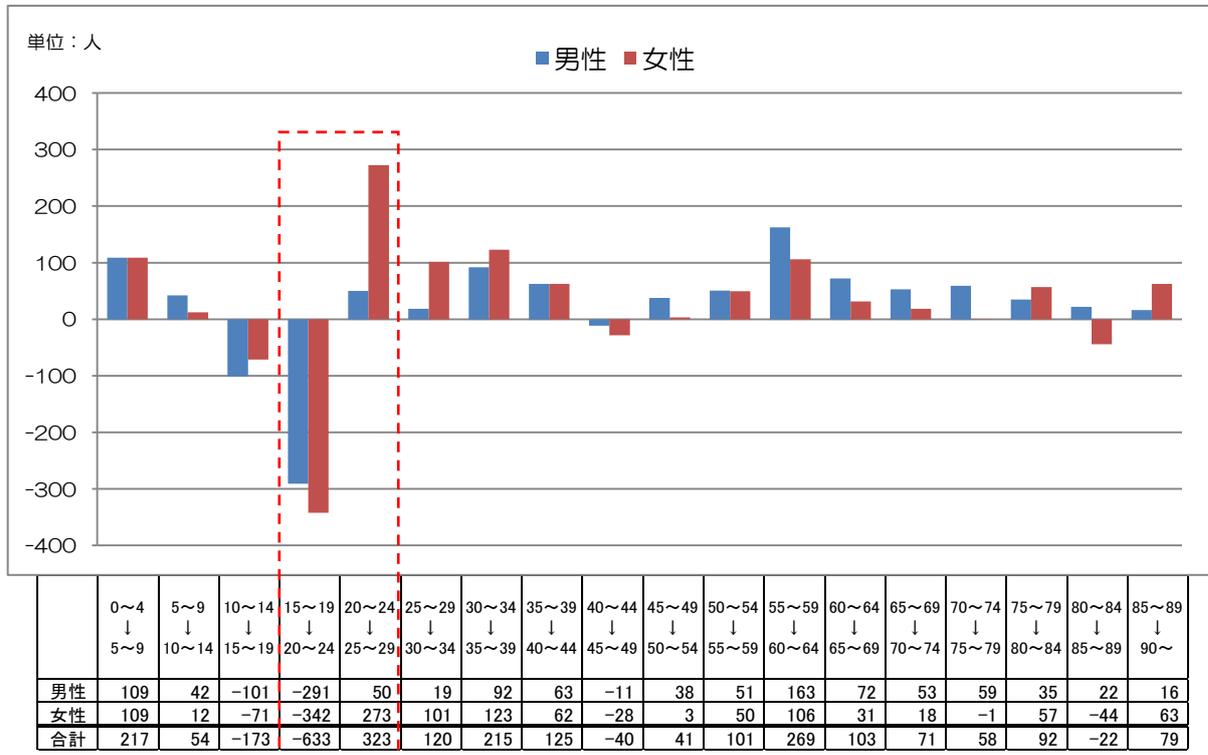
年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
転入数	5,744	6,138	6,045	5,590	4,591	4,198	4,317	4,487	5,320	5,494
転出数	6,014	6,114	5,785	5,578	4,665	4,170	4,293	4,508	4,870	5,109
社会増減	-270	24	260	12	-74	28	24	-21	450	385

出典) 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(総務省)

(8) 男女別年齢階級別人口移動の状況

平成 17 年から平成 22 年の男女別年齢階級別人口移動の状況をみると、15～19 歳から 20～24 歳になるときに、600 人以上転出超過となっていますが、これらは進学・就職等が大きな原因と考えられます。一方で、20～24 歳から 25～29 歳になるときに、300 人以上転入超過となっており、特に女性の転入超過が顕著となっています。

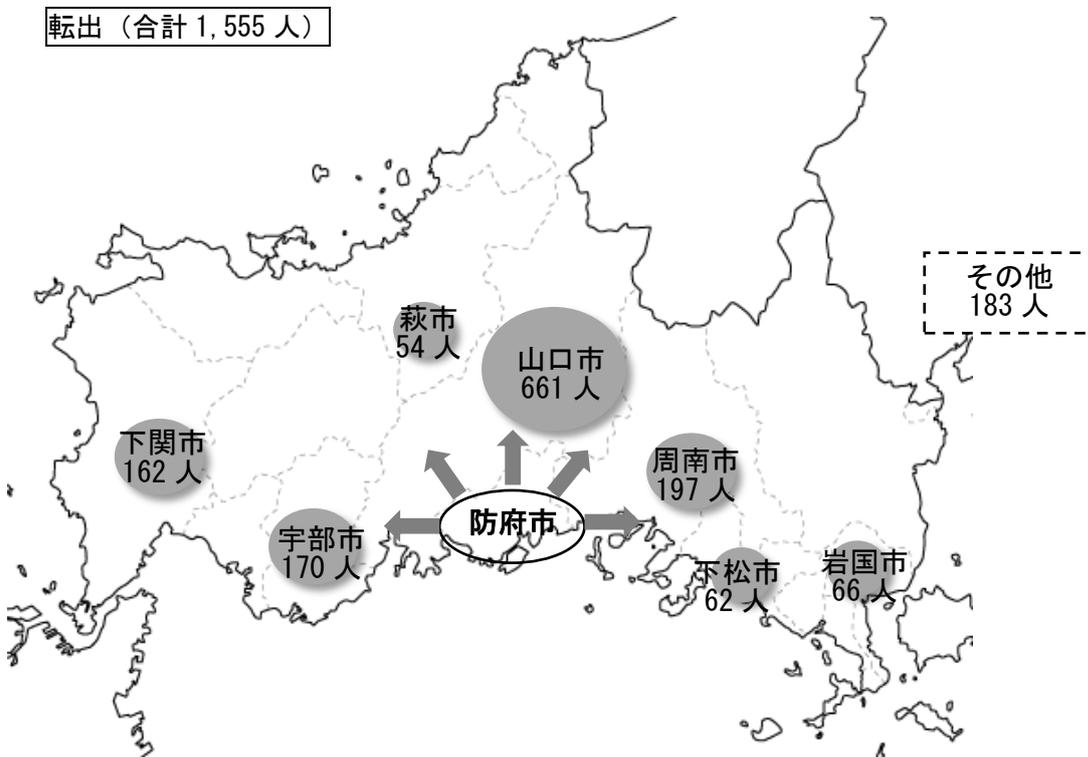
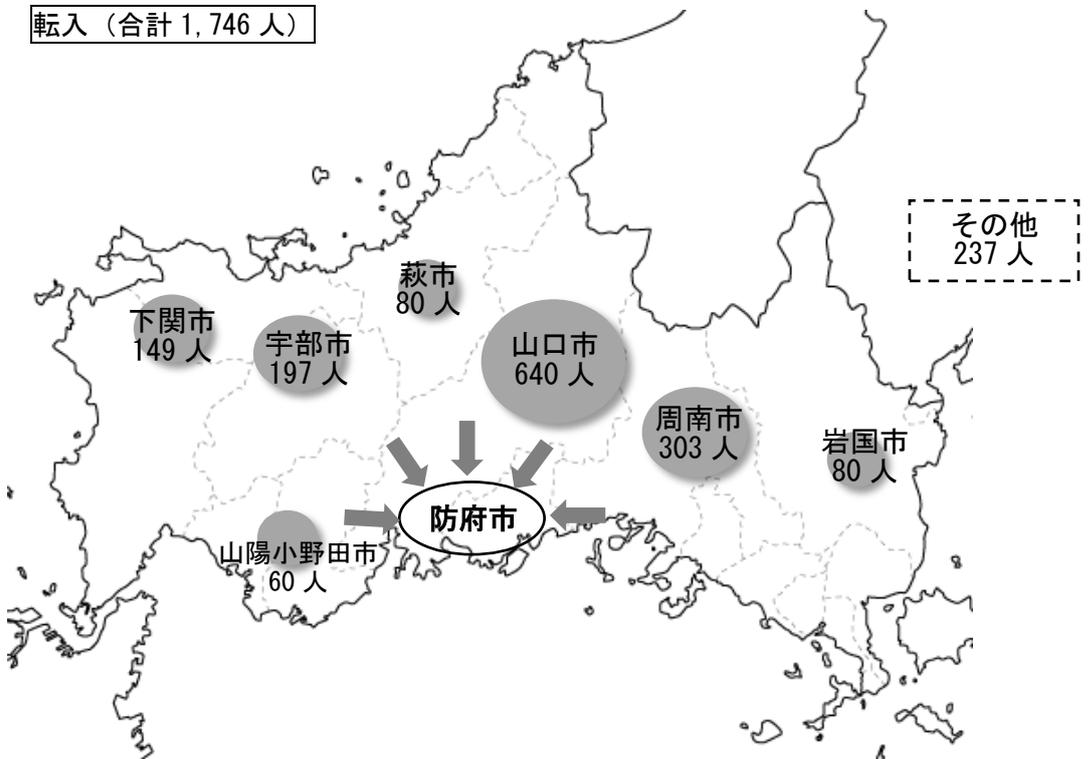
【5 歳階級別人口移動（平成 17 年→平成 22 年）】



出典) 国勢調査

(9) 県内市町間の人口移動の状況（平成 25 年）

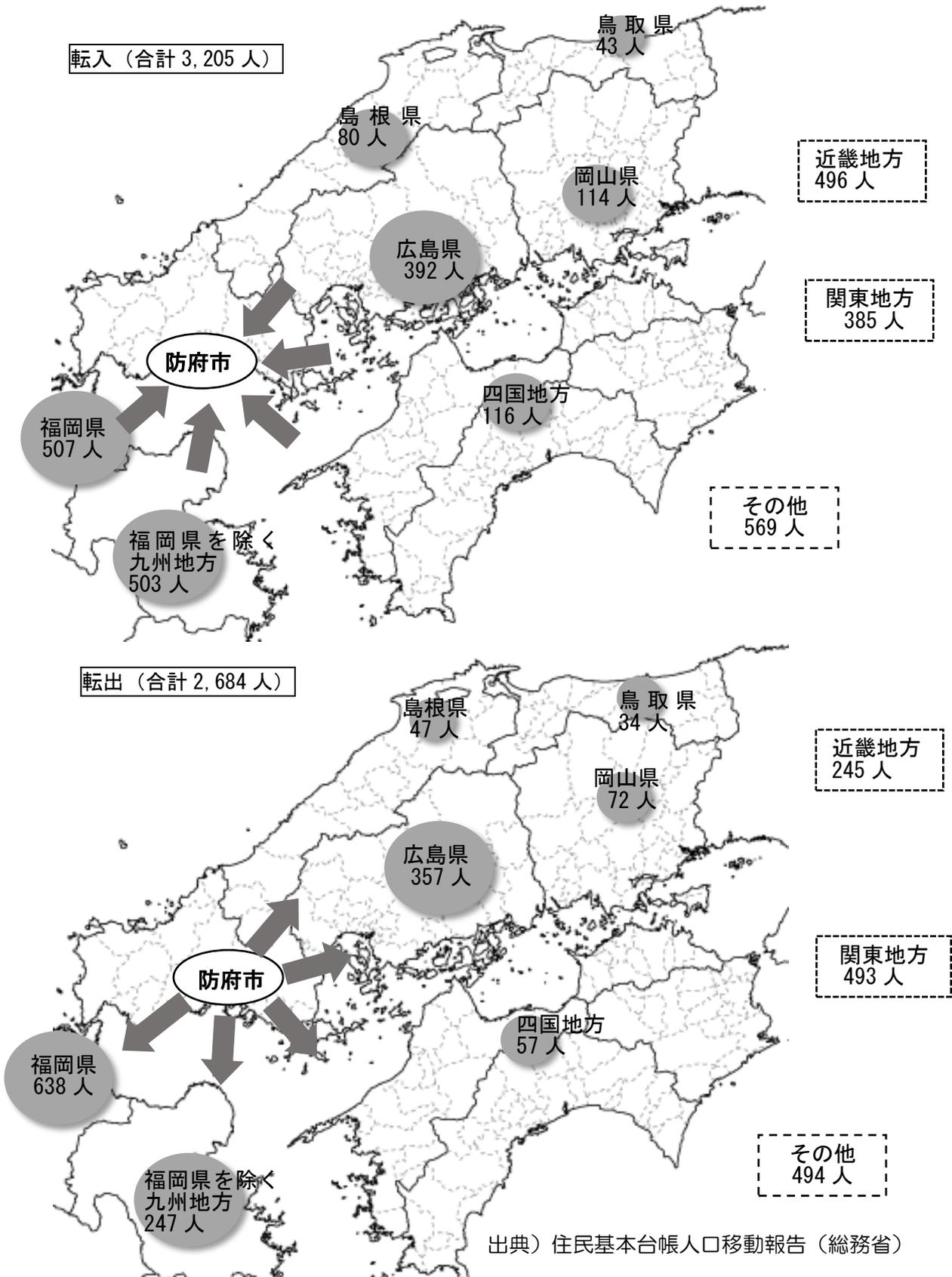
県内市町間の人口移動の状況を見ると、転入については、山口市からの転入が最も多く、次いで周南市、宇部市、下関市の順になっています。一方、転出についても山口市への転出が最も多く、次いで周南市、宇部市、下関市の順になっています。



出典) 住民基本台帳人口移動報告 (総務省)

(10) 県外の人口移動の状況（平成 25 年）

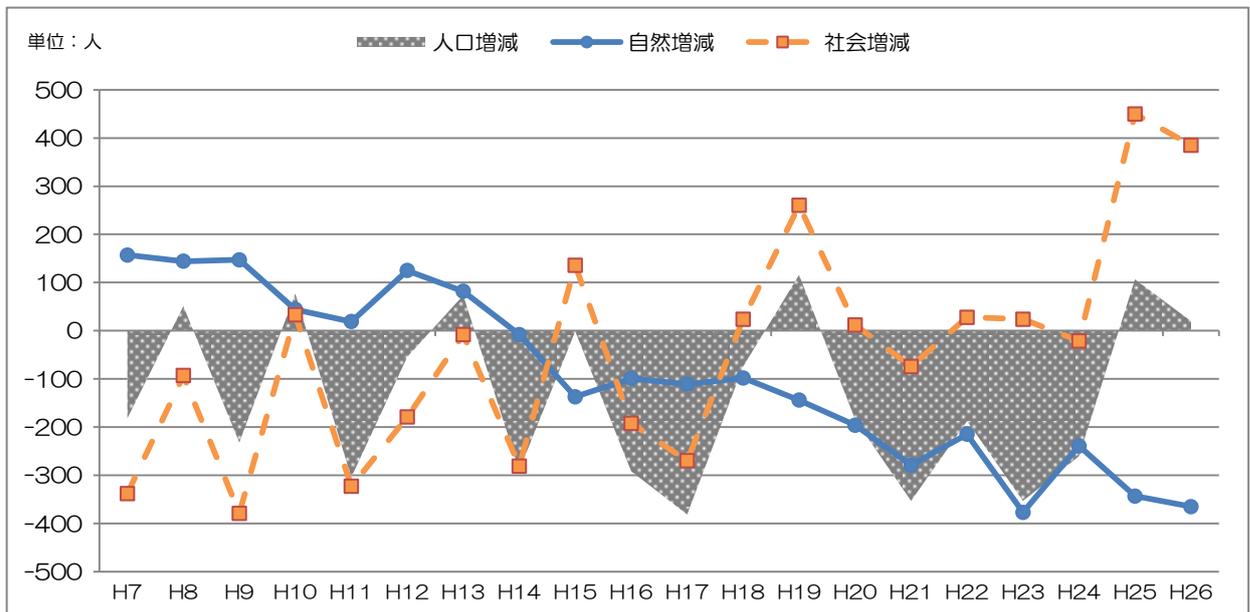
県外の人口移動の状況をみると、福岡県や広島県からの転入・転出が多くなっています。なお、本市は航空自衛隊の教育機関があるため、全国各地からの転入・転出が多くみられます。



出典) 住民基本台帳人口移動報告 (総務省)

(11) 人口動態の推移

人口動態の推移をみるとは、平成 24 年まで減少傾向でしたが、平成 25 年・26 年は社会増が自然減を上回ったことにより、人口増加となっています。



年度	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
自然増減	157	144	147	44	19	125	82	-8	-137	-99
社会増減	-338	-93	-379	33	-323	-179	-8	-281	136	-192
人口増減	-181	51	-232	77	-304	-54	74	-289	-1	-291

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
自然増減	-111	-98	-144	-196	-279	-215	-377	-239	-343	-365
社会増減	-270	24	260	12	-74	28	24	-21	450	385
人口増減	-381	-74	116	-184	-353	-187	-353	-260	107	20

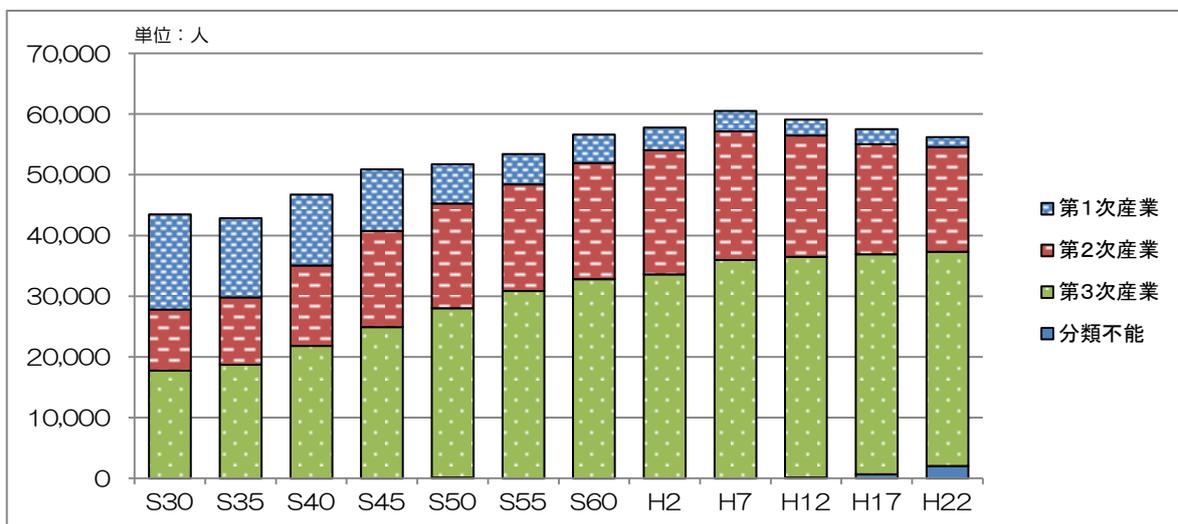
出典) 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数 (総務省)

(12) 産業別の就労状況

昭和30年からの産業別労働人口の推移をみると、第1次産業の労働人口が大きく減少し、第3次産業の労働人口が増加しています。

雇用形態を見ると、正規雇用の割合はわずかに全国を上回っています。また、女性の雇用形態をみると、非正規雇用が正規雇用を上回っています。

【産業別労働人口の推移】



	S30	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
第1次産業	15,656	13,054	11,645	10,156	6,440	5,027	4,669	3,693	3,367	2,635	2,442	1,644
第2次産業	10,054	11,110	13,248	15,846	17,270	17,530	19,130	20,471	21,180	19,985	18,171	17,239
第3次産業	17,790	18,713	21,809	24,900	27,873	30,879	32,755	33,565	35,979	36,301	36,222	35,271
分類不能	0	5	44	31	152	20	73	58	30	189	689	2,064

出典) 国勢調査

【雇用形態（正規・非正規）の割合（平成22年）】

単位：人・%

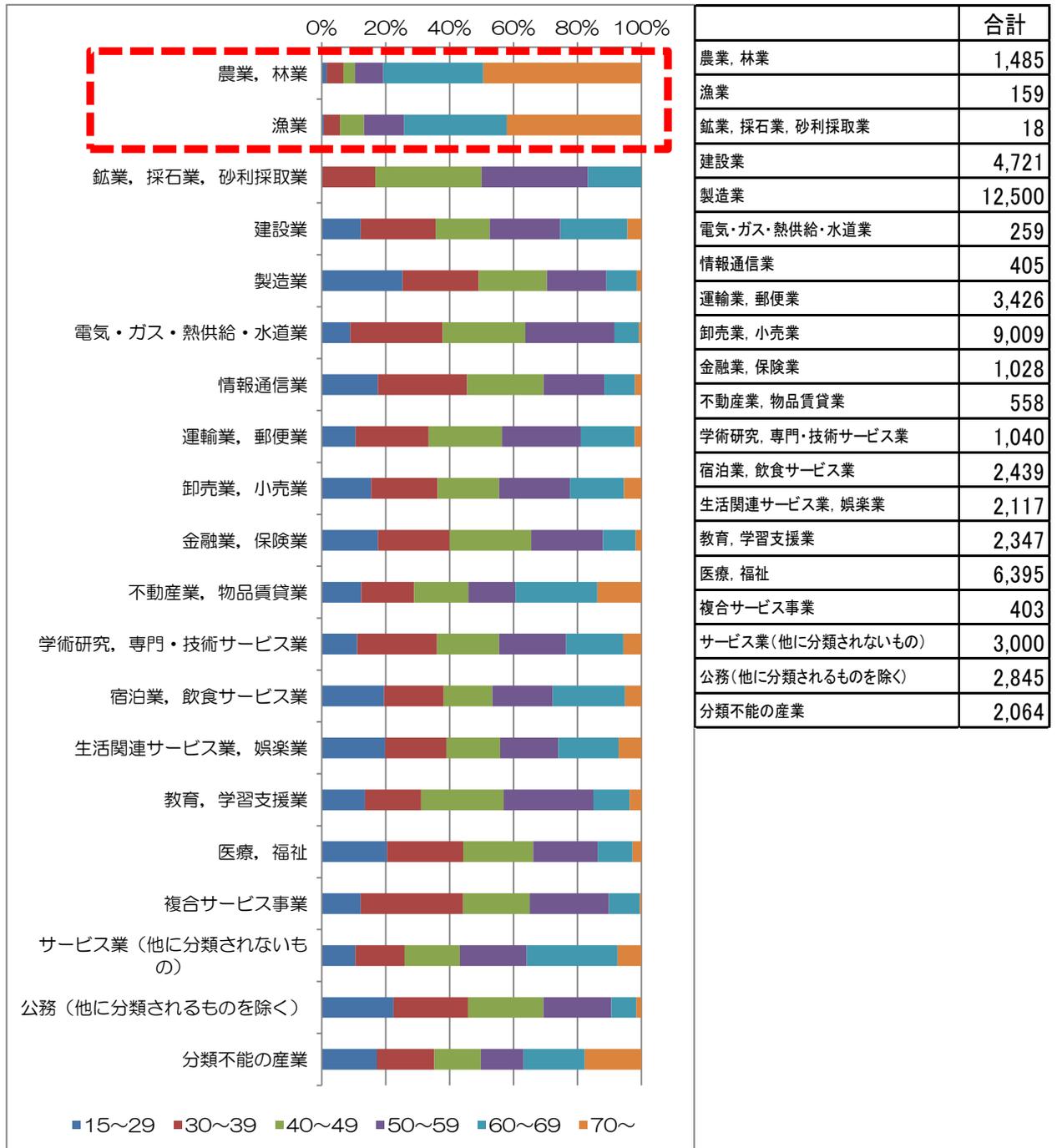
	雇用者	正規	非正規
全国	46,286,655	30,436,159 65.8%	15,850,496 34.2%
山口県	530,928	357,838 67.4%	173,090 32.6%
防府市	46,306	31,179 67.3%	15,127 32.7%
うち男性	25,962	21,936 84.5%	4,026 15.5%
うち女性	20,344	9,243 45.4%	11,101 54.6%

出典) 国勢調査

(13) 産業別労働人口構成（平成22年）

農業、林業、漁業の労働人口の8割近くが60歳以上であり、そのうち半数近くが70歳以上であるなど、本市の第1次産業は高齢者によって支えられていることがわかります。

単位：人

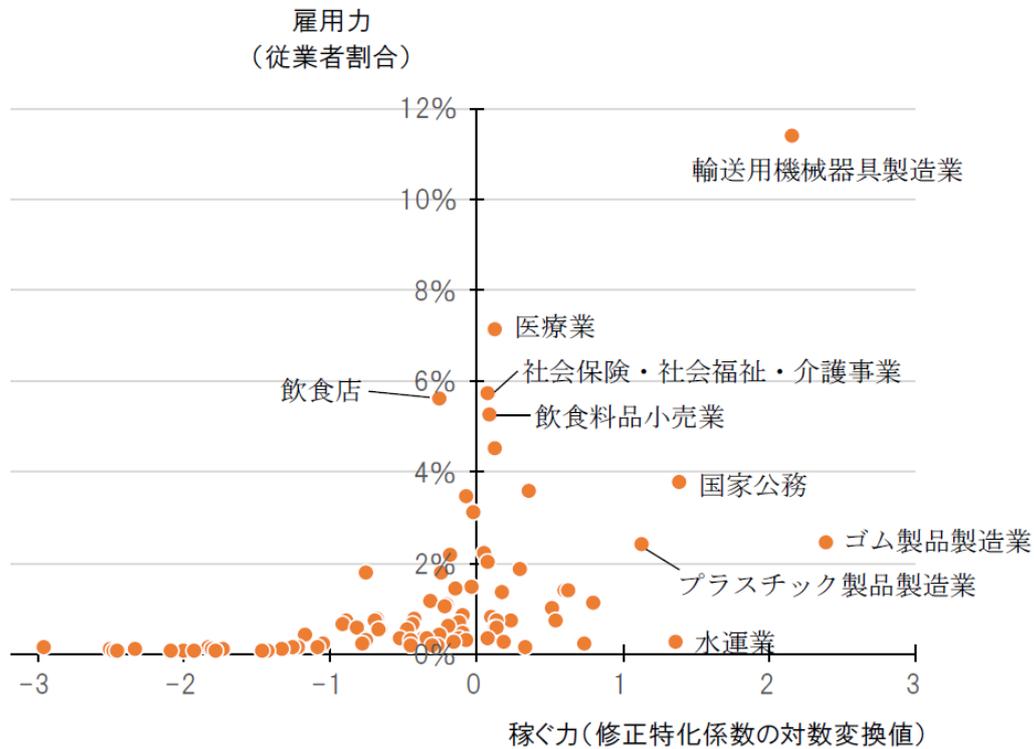


	合計
農業、林業	1,485
漁業	159
鉱業、採石業、砂利採取業	18
建設業	4,721
製造業	12,500
電気・ガス・熱供給・水道業	259
情報通信業	405
運輸業、郵便業	3,426
卸売業、小売業	9,009
金融業、保険業	1,028
不動産業、物品賃貸業	558
学術研究、専門・技術サービス業	1,040
宿泊業、飲食サービス業	2,439
生活関連サービス業、娯楽業	2,117
教育、学習支援業	2,347
医療、福祉	6,395
複合サービス事業	403
サービス業（他に分類されないもの）	3,000
公務（他に分類されるものを除く）	2,845
分類不能の産業	2,064

出典) 国勢調査

(14) 雇用力と稼ぐ力

本市の稼ぐ力のある産業はゴム製品製造業や輸送用機械器具製造業等であり、輸送用機械器具製造業は雇用力も高いことがわかります。



※上にいくほど雇用を生み出す力が強く、右にいくほど地域外からお金を稼ぐ力が強いことを示します。

雇用力(従業者比率)上位

輸送用機械器具製造業	11.3%
医療業	7.1%
社会保険・社会福祉・介護事業	5.7%
飲食店	5.6%
飲食料品小売業	5.4%

稼ぐ力(修正特化係数の対数変換値)上位

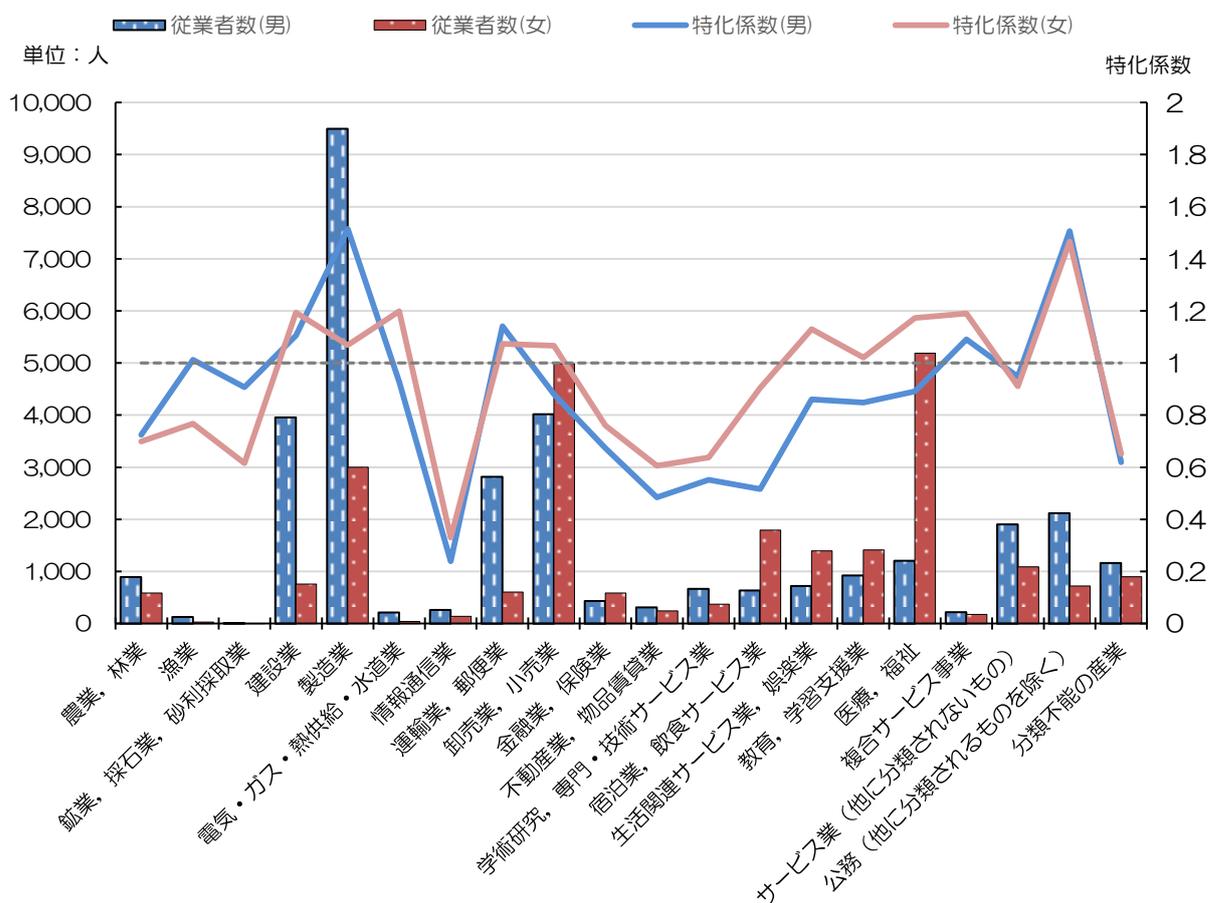
ゴム製品製造業	2.24
輸送用機械器具製造業	2.16
国家公務	1.39
水運業	1.37
プラスチック製品製造業(別掲を除く)	1.14

出典) 地域の産業・雇用創造チャート(総務省)

(15) 男女別産業人口と特化係数

全国と比較すると、男性は製造業や公務、女性は公務や電気・ガス・熱供給・水道業などに特化しています。

※特化係数とは、ある産業の本市における就業者比率を、全国における就業者比率で割ったもので、特化係数1を超えた産業は、全国より特化している産業を示します。



特化係数が1を超える産業

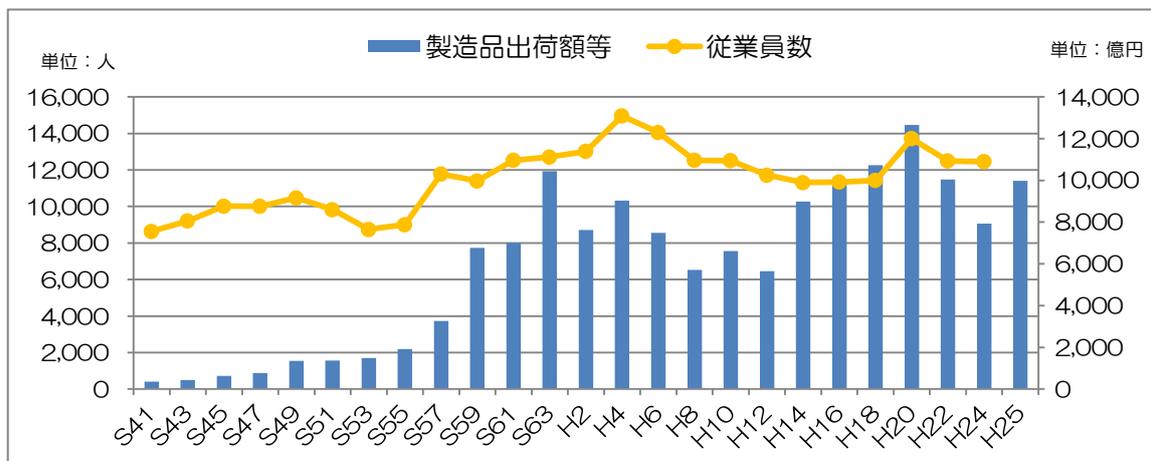
	特化係数(男)
製造業	1.52
公務（他に分類されるものを除く）	1.51
運輸業、郵便業	1.14
建設業	1.11
複合サービス事業	1.09
漁業	1.01

	特化係数(女)
公務（他に分類されるものを除く）	1.47
電気・ガス・熱供給・水道業	1.20
建設業	1.19
複合サービス事業	1.19
医療、福祉	1.17
生活関連サービス業、娯楽業	1.13
運輸業、郵便業	1.07
製造業	1.07
卸売業、小売業	1.07
教育、学習支援業	1.02

出典）国勢調査

(16) 製造品出荷額等・従業者数の推移

製造品出荷額は、自動車関連工場が進出した昭和57年以降大きく上昇し、以降、景気動向により変動しています。また、従業員数は近年概ね1万2千人前後で推移しています。

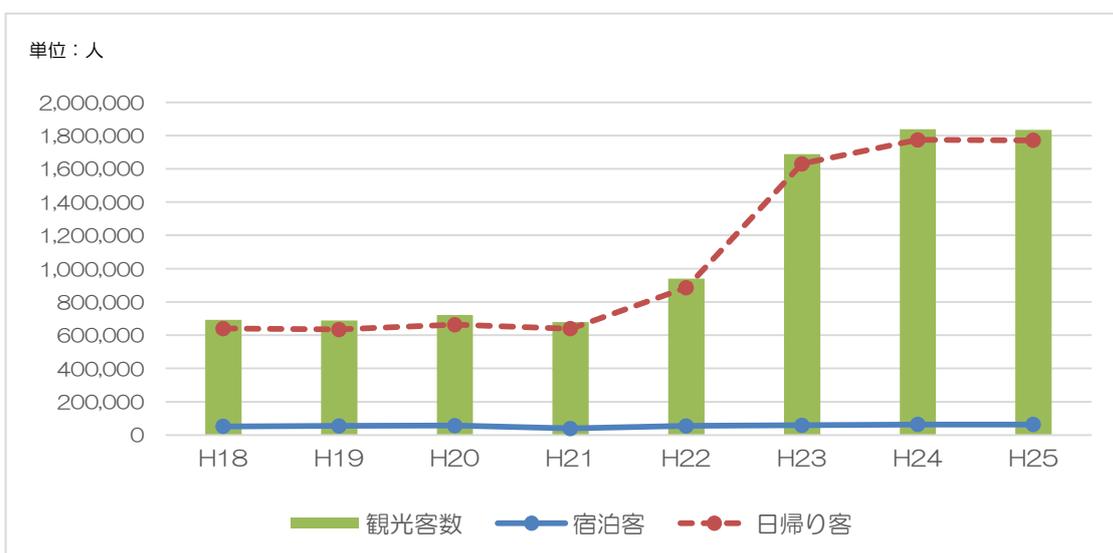


項目	S41	S43	S45	S47	S49	S51	S53	S55	S57	S59	S61	S63	
製造品出荷額等	363	438	636	771	1,356	1,360	1,483	1,919	3,260	6,760	7,016	10,437	
従業員数	8,640	9,208	10,019	10,011	10,470	9,827	8,740	9,009	11,780	11,404	12,531	12,710	
	H2	H4	H6	H8	H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H25
	7,625	9,023	7,484	5,717	6,608	5,653	8,989	10,021	10,727	12,663	10,035	7,935	9,976
	13,019	14,955	14,056	12,526	12,512	11,718	11,316	11,340	11,423	13,721	12,489	12,460	—

出典) 工業統計調査・市区町村別、産業中分類別統計表

(17) 観光客数の推移

平成25年には約183万人の観光客が本市を訪れており、その中心は日帰り客となっています。



※平成23年から観光客数の調査方法等を変更しています。

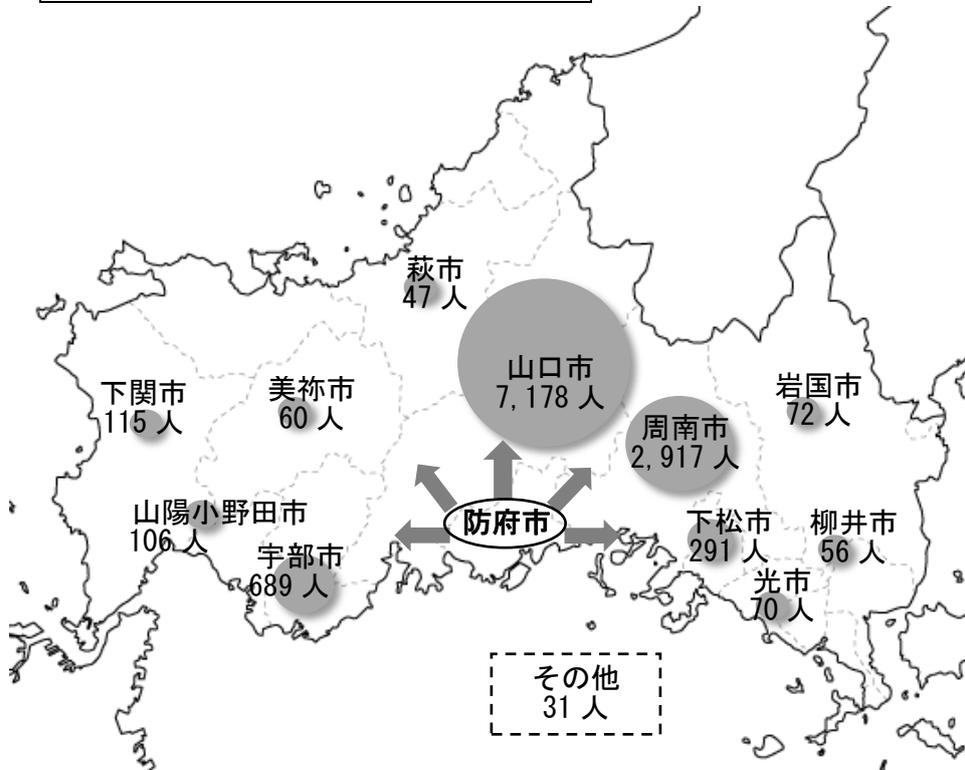
	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
総数	691,771	689,254	720,260	678,163	940,565	1,688,420	1,837,821	1,834,593
宿泊客	51,801	54,628	56,789	39,276	55,002	58,276	63,612	63,677
日帰り客	639,970	634,626	663,471	638,887	885,563	1,630,144	1,774,209	1,770,916

出典) 山口県観光客動態調査

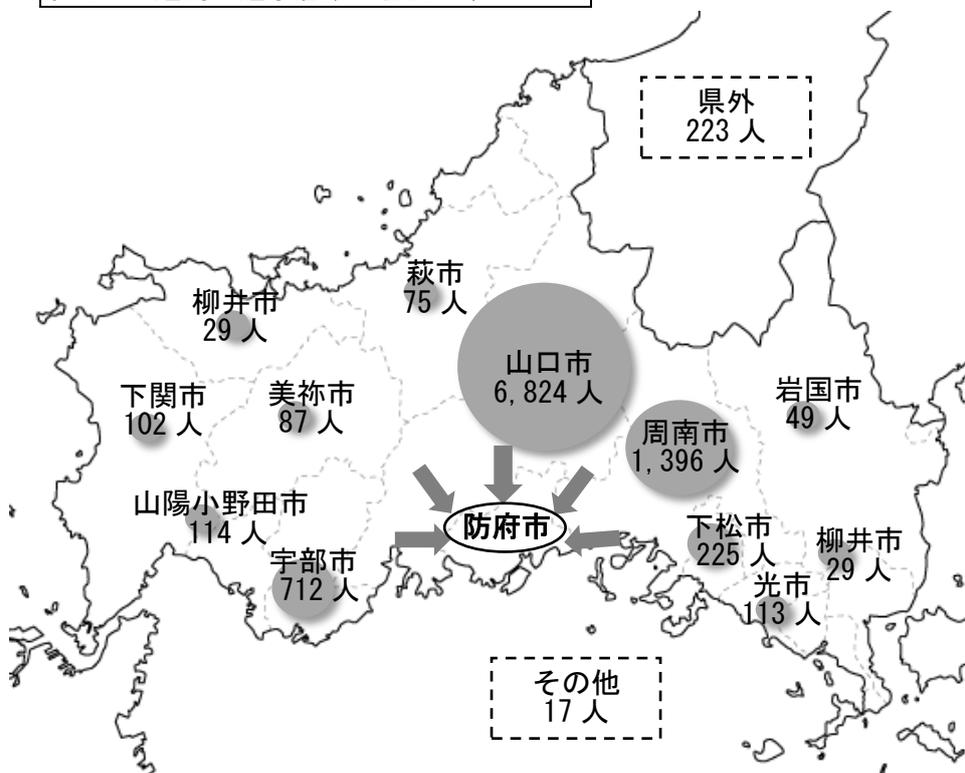
(18) 通勤・通学の状況

市外への通勤・通学者数、及び市内への通勤・通学者数は、いずれも山口市が最も多く、次いで周南市、宇部市、下松市の順になっています。

市外への通勤・通学者数 (合計 12,045 人)



市内への通勤・通学者数 (合計 10,016 人)

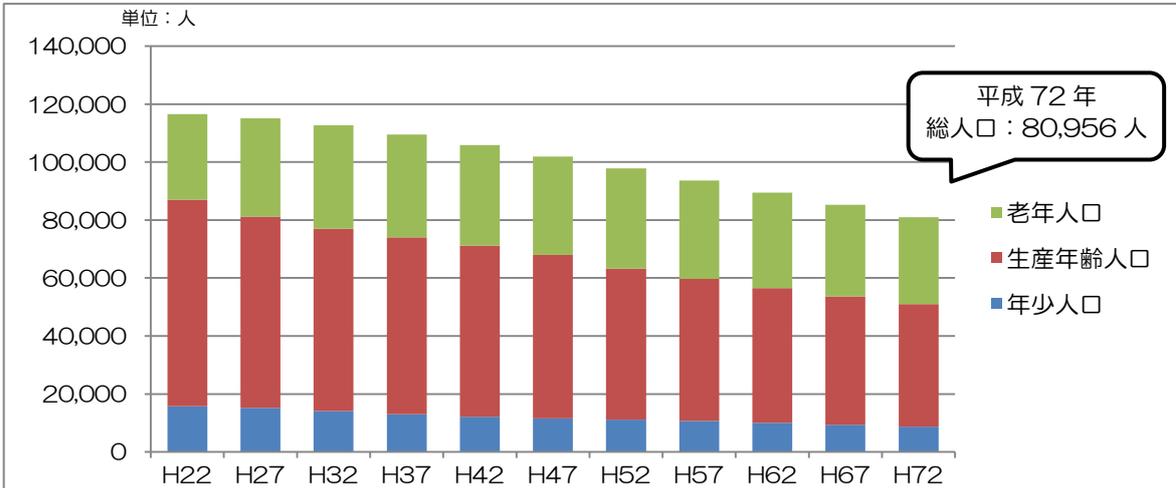


出典) 国勢調査

2 将来人口の推計

(1) これまでの趨勢で推移する場合の人口の将来推計

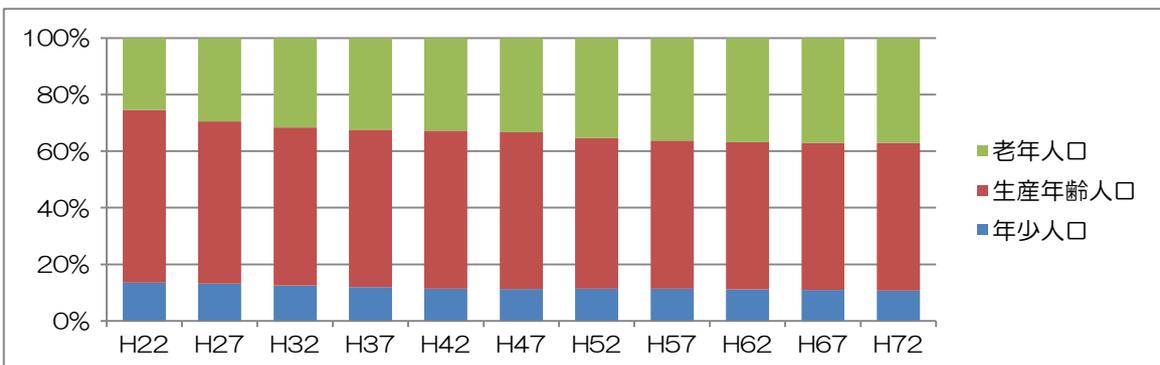
国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、平成72年には約8万1千人になるとされています。また、生産年齢人口や年少人口は年々減少する一方、老年人口の割合は増加するとされています。平成22年度の老年人口の割合は約25%でしたが、平成72年には約37%まで上昇するとされており、おおよそ現役世代1.4人で高齢者1人を支える計算になります。



	H22	H27	H32	H37	H42	H47	H52	H57	H62	H67	H72
年少人口	15,811	15,177	14,167	13,037	12,082	11,539	11,149	10,666	10,043	9,353	8,715
生産年齢人口	71,220	66,073	62,899	60,975	59,129	56,436	52,144	49,007	46,518	44,342	42,286
老年人口	29,580	33,895	35,604	35,457	34,665	33,994	34,545	33,970	32,932	31,590	29,956
総数	116,611	115,146	112,670	109,469	105,877	101,969	97,838	93,643	89,493	85,285	80,956

出典) 将来推計人口 (国立社会保障・人口問題研究所)

【3区分人口の割合】



	H22	H27	H32	H37	H42	H47	H52	H57	H62	H67	H72
年少人口	13.5%	13.2%	12.6%	11.9%	11.4%	11.3%	11.4%	11.4%	11.2%	11.0%	10.8%
生産年齢人口	61.1%	57.4%	55.8%	55.7%	55.8%	55.3%	53.3%	52.3%	52.0%	52.0%	52.2%
老年人口	25.4%	29.4%	31.6%	32.4%	32.7%	33.3%	35.3%	36.3%	36.8%	37.0%	37.0%

○高齢者1人を現役世代何人で支えるか

	H22	H27	H32	H37	H42	H47	H52	H57	H62	H67	H72
	2.41	1.95	1.77	1.72	1.71	1.66	1.51	1.44	1.41	1.40	1.41

出典) 将来推計人口 (国立社会保障・人口問題研究所)

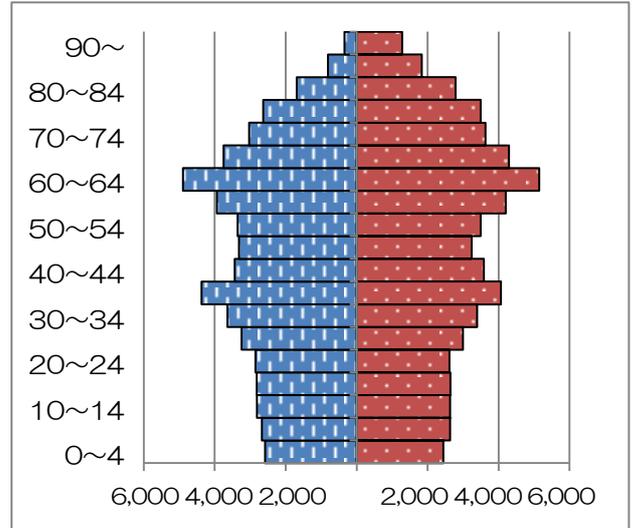
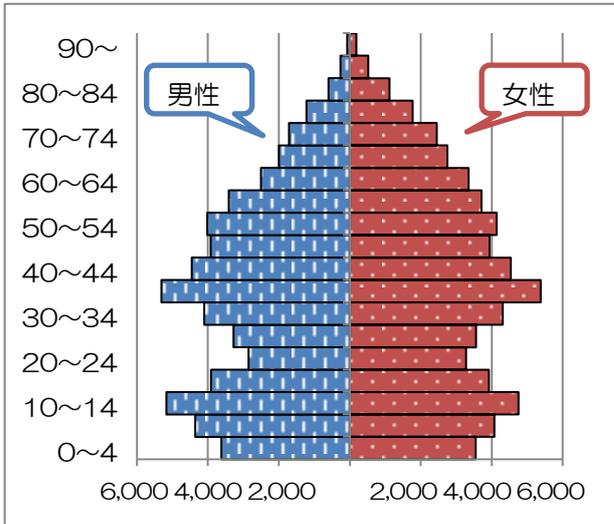
(2) 男女別年齢階級別人口構成の将来予測

少子高齢化によって年齢階級別人口構成の重心が徐々に上がると推測されています。

【昭和 60 年】

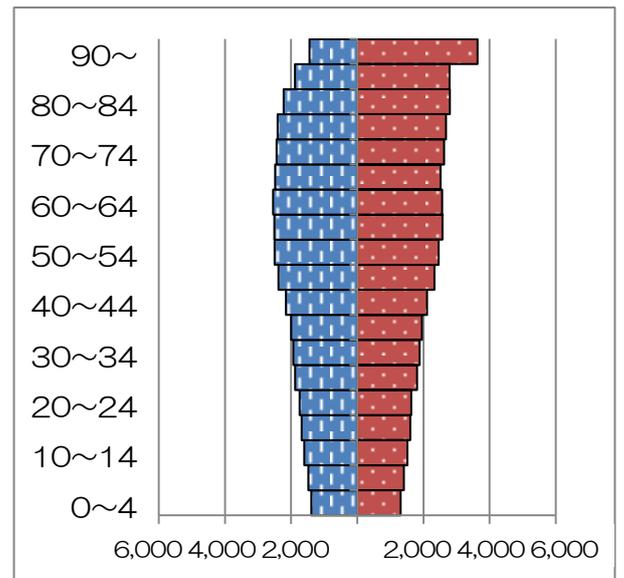
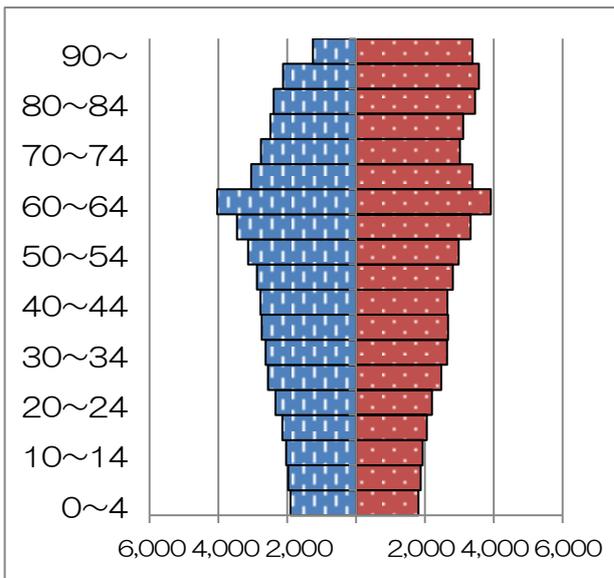
【平成 22 年】

単位：人



【平成 47 年】

【平成 72 年】



男性	総数	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90以上
S60	56,772	3,619	4,356	5,169	3,911	2,853	3,277	4,102	5,309	4,454	3,921	4,017	3,411	2,503	1,997	1,714	1,222	601	263	73
H22	56,193	2,581	2,671	2,811	2,817	2,853	3,244	3,642	4,372	3,437	3,317	3,355	3,940	4,895	3,751	3,031	2,634	1,690	809	343
H47	48,730	1,909	1,974	2,035	2,145	2,344	2,562	2,631	2,742	2,780	2,883	3,140	3,463	4,035	3,051	2,766	2,492	2,397	2,124	1,256
H72	38,679	1,389	1,479	1,602	1,681	1,742	1,879	1,934	1,998	2,156	2,383	2,500	2,507	2,545	2,483	2,440	2,408	2,225	1,883	1,444

女性	総数	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90以上
S60	61,292	3,547	4,071	4,757	3,921	3,274	3,553	4,313	5,381	4,536	3,938	4,139	3,716	3,345	2,747	2,451	1,775	1,115	524	189
H22	60,421	2,446	2,630	2,634	2,644	2,617	2,994	3,396	4,064	3,586	3,241	3,498	4,202	5,140	4,296	3,633	3,495	2,783	1,839	1,283
H47	53,239	1,811	1,879	1,929	2,051	2,204	2,474	2,643	2,665	2,654	2,807	2,978	3,325	3,911	3,380	3,014	3,110	3,459	3,567	3,378
H72	42,277	1,318	1,408	1,519	1,608	1,638	1,814	1,884	1,954	2,116	2,339	2,459	2,580	2,569	2,521	2,631	2,686	2,803	2,792	3,641

出典) 将来推計人口 (国立社会保障・人口問題研究所)

(3) 人口の変化が地域の将来に与える影響の考察

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口に基づき推移した場合、人口減少が地域の将来に与える影響の考察を行いました。

【地域経済への影響】

生産年齢人口が減少すると、労働力不足となることで企業等の成長が阻害され、市内の経済成長が鈍化することに加え、個人消費の縮小に伴い地域経済も悪化すると考えられます。

【福祉分野への影響】

老年人口の増加により、医療や介護等の社会保障費が増加し、現役世代の負担は一層増大すると見込まれます。また、生産年齢人口の減少が進むことにより、福祉分野で働く人材の確保が困難となると予想されます。

【教育分野への影響】

学級数や1クラスあたりの児童数が減少することで、集団学習の実施に制約が生じ、競争力が低下するなど、教育活動の質を維持することが困難になると考えられます。

【地域生活への影響】

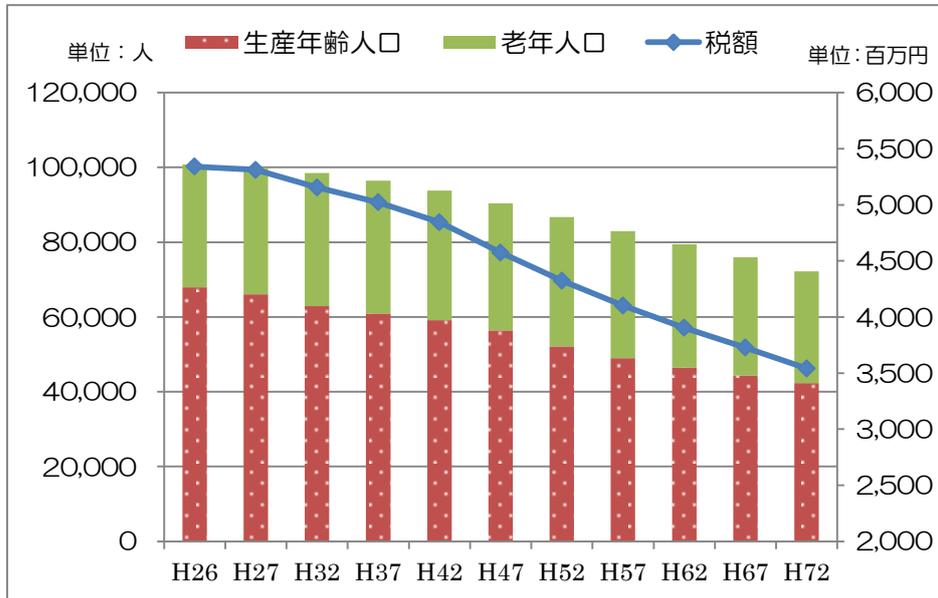
地域の人口が減少すると、一定規模の人口を前提として成り立っている小売や飲食、医療などの住民サービスが地域から撤退することで日常生活が不便になるおそれがあり、また、地域活動の担い手の減少にともない、自治会や消防団など、地域の自主的な活動が弱体化し、地域社会の存続自体が危ぶまれます。

【地方財政等への影響】

生産年齢人口や産業の縮小等により市税の減収が見込まれるとともに、高齢化に伴い社会保障費が増大していくことが見込まれます。加えて、公共施設の維持補修や更新の需要が高まることから、より厳しい財政運営を迫られることが予想されます。

【個人市民税の将来予測】

市税収入のうち個人市民税について推計すると、現役世代である生産年齢人口が大幅に減少し老年人口が増加しているため、税収は人口減少の傾き以上に落ち込むと予測されます。



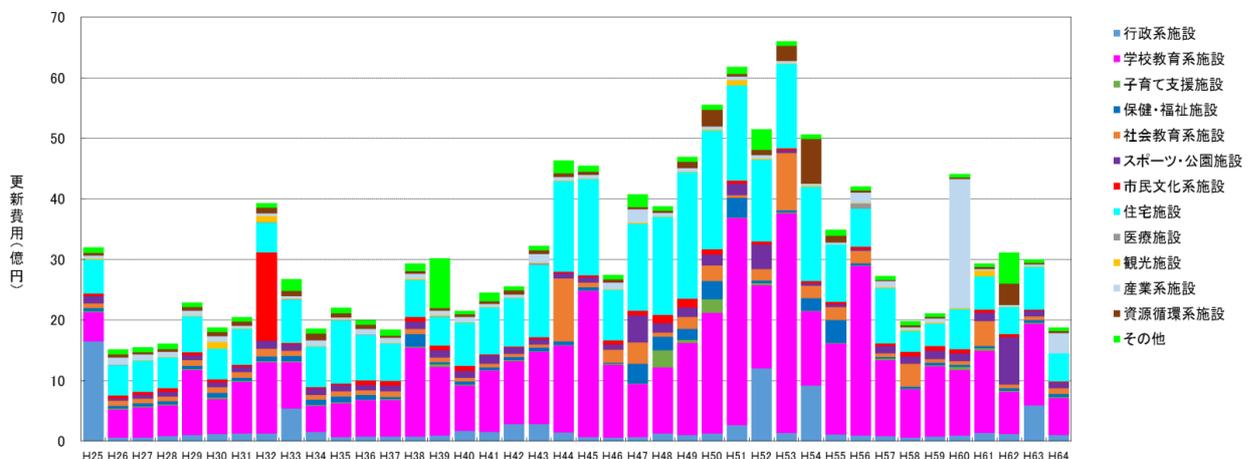
	1人当たりの納税額
0～14歳	0
15～19歳	2,964
20～24歳	36,859
25～29歳	59,950
30～34歳	66,702
35～39歳	75,582
40～44歳	84,873
45～49歳	93,234
50～54歳	105,531
55～59歳	96,758
60～64歳	45,730
65～69歳	30,388
70～74歳	24,411
75～79歳	16,995
80～84歳	16,656
85～89歳	15,734
90歳以上	11,694

	H26	H27	H32	H37	H42	H47	H52	H57	H62	H67	H72
税額(百万円)	5,341	5,311	5,155	5,023	4,844	4,574	4,324	4,102	3,905	3,728	3,542
生産年齢人口	67,932	66,073	62,899	60,975	59,129	56,436	52,144	49,007	46,518	44,342	42,286
老年人口	32,860	33,895	35,604	35,457	34,665	33,994	34,545	33,970	32,932	31,590	29,956

【施設分類別の将来費用の推移】

将来費用を施設分類別に見ると、学校教育系施設の占める割合が大きく、40年間の将来費用全体の約37.5%（約479億8,400万円）になります。

将来費用のピーク時である平成53年度には、小中学校や市営住宅、文化財郷土資料館等の更新費用が集中しています。



出典) 防府市公共施設白書

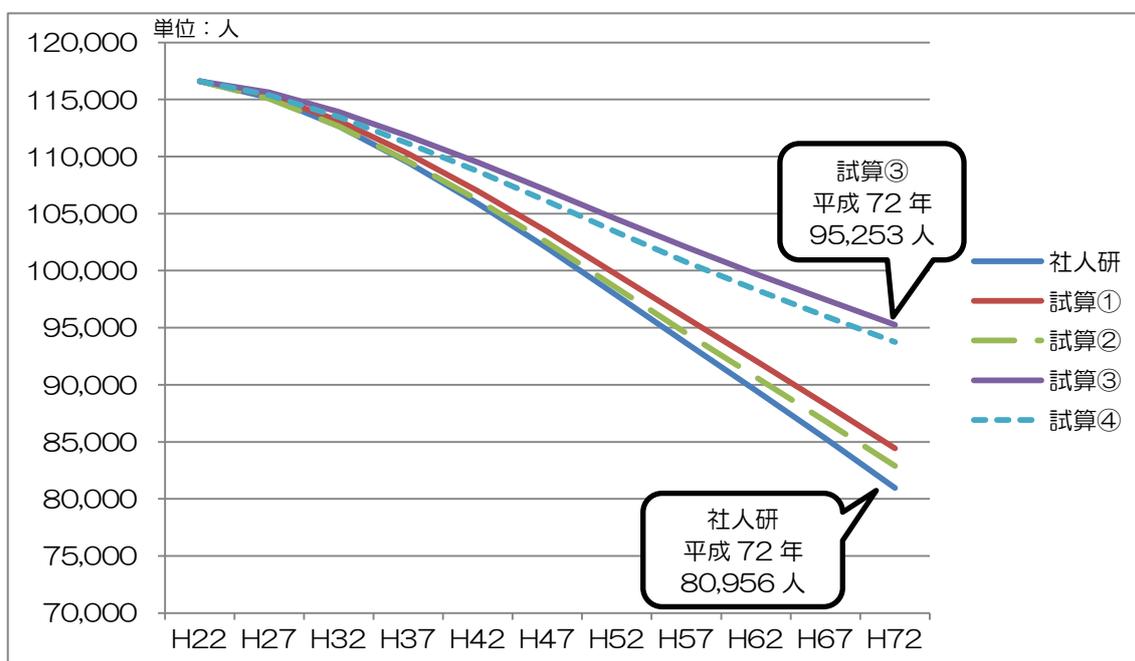
Ⅱ 人口の将来展望等

1 将来展望に必要な調査・分析

- (1) 高校生進路希望状況調査
- (2) 学生進路希望状況調査
- (3) 転入に関する意向調査
- (4) 転出に関する意向調査
- (5) 結婚・出産・子育てに関する市民アンケート調査

2 目指すべき将来の方向

3 人口の将来展望



- ・社人研 現在の趨勢のままで推移した場合（社人研準拠）
- ・試算① 直近5年間の平均合計特殊出生率 1.63 で推移した場合
- ・試算② 試算①の移動率が0になった場合
- ・試算③ 平成22年の合計特殊出生率を 1.63 とし、平成42年に 2.00、平成52年に 2.07 まで上昇した場合
- ・試算④ 試算③の移動率が0になった場合

	H22	H27	H32	H37	H42	H47	H52	H57	H62	H67	H72
社人研	116,611	115,146	112,670	109,469	105,877	101,969	97,838	93,643	89,493	85,285	80,956
試算①	116,611	115,335	113,128	110,254	106,993	103,421	99,651	95,838	92,090	88,301	84,419
試算②	116,611	115,075	112,668	109,591	106,190	102,463	98,480	94,502	90,656	86,811	82,884
試算③	116,611	115,616	113,925	111,781	109,499	107,033	104,518	102,042	99,715	97,456	95,253
試算④	116,611	115,364	113,482	111,143	108,711	106,093	103,380	100,748	98,324	96,002	93,743